

謝 辞

本論文は、著者が長崎大学工学部4年生の時から、同大学院修士課程および博士課程の計6年間に渡り、長崎大学工学部電気電子工学科 福永博俊教授のもとで行ってきた“高性能低透磁率コア用ナノ結晶軟磁性材料開発に関する研究”の成果をまとめたものであります。本研究の遂行および論文の執筆において数々の御指導、御助言を賜りました福永博俊教授に深く感謝致します。

本研究を進めるにあたり、試料を作製、御提供頂きました日立金属(株)吉沢克仁氏に心より感謝致します。御提供いただいた試料にて再現性よく実験結果を得ることができ、研究を進展させることができました。時に貴重な御意見・御助言いただきましたことに対しましても御礼申し上げます。

本論文をまとめるにあたり、有益な御指導および御助言を賜りました長崎大学工学部 藤山寛教授、羽坂雅之教授にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。また実験、論文執筆、生活、その他多くの場面におきまして、最も多く、最も気軽に相談に応じていただきました長崎大学工学部 中野正基助教授、実験装置作製および修理の際のご助言等を賜りました長崎大学工学部 高橋賢一郎技官および測定装置の改善の際等、多々便宜を取り計らっていただきました長崎大学工学部 金井泰久前講師に深く感謝致します。

本研究に関する実験装置の扱い等、直接の御指導を賜りました長崎大学工学部電気電子工学科 福永・中野研究室の諸先輩方および実験遂行の手助けを賜りました同研究室の方々に感謝申し上げます。

研究室の皆様とは家族以上に共有する時間が多く、6年間を振り返ると様々な思い出がよみがえり感慨深くなります。6年間研究を続けることができ、本論文を無事に著すことができたのは良き指導者に恵まれたということはもちろんのこと、良き研究室のメンバーに恵まれたということも大きな要素であったと感じております。皆様とは1年、2年もしくは3年の付き合いではありましたが非常に充実した時を過ごす事ができました。皆様の益々の活躍を祈念し、謝辞とさせていただきます。

柳 井 武 志